

納会 富士山 5月18日～19日 吉田大沢

メンバー L西川、小森宮、柳沢、橋本、菅沼、鈴木(御)一家、遠山、
重田、古川、角田、山崎、矢野、島田 14名(18日～19日)
伊藤(総)、猿田、蔵田、白沢、石垣、手塚、田村、沢 8名(19日)

5/18 晴

大月で仮眠、富士急の始発に乗り、河口湖からタクシーで5合目着。観光客ごとにぎわっている。雪は全く見えない。林道の少し先にテントをはり、ゆっくりと出発する。吉田大沢に入り、6合目ごとうやく雪の上に出る。南面より特に急傾斜にはみえない。休み休み登って7合目(2900m)とおもわれる岩のそば。頂上はすぐ上のよう見えるが、登れば長いだろう。全体的に頂上をめざす意欲が感じられず、ガスも出てきて、ここまで打切る。さすがに下りは早い。テント場にもどると国際観光地だけあって外国人も多く人通りは絶えない。馬車も通る中、にわかに現われたこのテント村が最大の見世物になっていたようだ。夜は重田氏持参の特大鉄板での焼肉パーティー。

5/19 曇

天気はくずれそうなくずれない。ともかくも出発すると6合目で日帰りのメンバーも追いついてきて合流した。昨日と同じルートを登るが、今日は雪は硬い。曇天で日があたらずやるむ見込はなさうだ。7合目付近では表面の下に透明な氷が見える。昨日と同じ岩まで登り、落石をさけて一人尾根筋に移る。まだ登るのは可能だが、下りの危険を考えて今日もここまでにした。すべりはじめるとあっという間に下りてしまつた。有志のみもう一度登りなおす。7合目近くになると風がつよくて雪つぶてがあたり、なかなかさびしい。なにもない斜面なのでスキーをはくのに苦労する。下りは一気におりる。かくして昼ごろにはすでに下山。伊藤(総)氏がわざわざ迎えにきてもらつて、全員車で帰ることになった。車を運転して下さった方々、重い装備を運んで下さった方々、どうもありがとうございました。

(西川記)

コースタイム

5/18 テント 10:15 → 6合目(2500m) 11:00 → 7合目(2900m) 12:40 / 13:20
→ 6合目 13:50 → テント 14:30
5/19 テント 6:50 → 7合目 8:55 / 9:40 → 6合目 10:00 / 11:20
→ テント 12:10